

第60回 北海道オープンゴルフ選手権

第60回北海道オープンゴルフ選手権は、7月29日から3日間、4年連続で札幌美蓉CCでの開催となった。北海道ゴルフ所属のプロを中心にアマ1000余名が参加して行われ、和田七星プロが最終7パティール65の好スコアをマークして逆転優勝した。アマの部は西山陽斗選手が2アンダ121でベストアマに輝いた。

60回目のゴルフアマ北海道NO.1を決める戦いは、ハイレベルなバーディー合戦となった。最終日の前半9ホールを終え、和田プロと佐藤大地プロが15アンダーでトップ並走。インに入っても両者とも2バーディーを取り、迎えた16番(34.5ヤード)が明暗を分けた。和田プロが4メートルを決めてバーディー、対する佐藤プロがボギーで打差が1ついた。勢いづいた和田プロは18番でビクトリーバーディーを決め、優勝に花を添えた。

北海道オープンは57回大会以来2度目のVプに入り6年目、29歳となり「30歳目前なのこのままゴルフを続けるか、他の仕事をしたい」という思いが強い。練習ラウンドは20回以上こなしました。美蓉CCの選手会の皆さんには助けられました。感謝しあります。んと和田プロ。



優勝の和田七星選手

優勝者に与えられる日本オープンの出場権。23年は初の夢舞台に、自分のゴルフができなかった気がする。確かに2打足りずに予選落ちしましたが、その時よりパットが良くなったので、今年こそ予選はクリアしたい。そのために寄せを磨きます」と意欲満々だ。

全体5人でベストアマには西山陽斗選手、東北福祉大1年が輝いた。帯広市生まれで香川西高校へゴルフ留学して、ゴルフの名門大学の門をたいて。初日に選ばれてしまいダメでした。それでも日本オープン最終予選会9月7、8日、茨城ザ・ロイヤルGCに出られるのが、頑張りたいと目を輝かせた19歳の大学生。最終日7バーディー(3ボギー)68で大きくリを決めた。

○3人の女子プロも大健闘した。元シード選手の藤本麻子プロは36位タイ。2年連続の挑戦となった田村祐里プロは52位タイに「飛距離ではかなわないけど寄せで耐え抜きました。結構して北海道に縁ができて、ナリ刺激を受けていた。満足した。いい経験になりました。齊藤美香プロは58位タイで予選通過した。

順位	氏名	SCORE	ROUNDS			TOTAL	日本オープンゴルフ選手権競技出場資格取得者
			1R	2R	3R		
1	和田 七星 フリー	-18	67(33/34)	66(32/34)	65(33/32)	198	
2	佐藤 太地 Xrenta-car	-14	69(36/33)	63(33/30)	70(34/36)	202	
3	長谷川 大晃 フリー	-9	67(32/35)	68(33/35)	72(39/33)	207	
4	小西 翼太 小樽CC	-3	70(35/35)	74(35/39)	69(34/35)	213	最終予選会出場資格取得者
5	西山 陽斗 帯広国際CC	-2	75(39/36)	71(33/38)	68(34/34)	214	

順位	氏名	SCORE	ROUNDS			TOTAL
			1R	2R	3R	
1	西山 陽斗 帯広国際CC	-2	75(39/36)	71(33/38)	68(34/34)	214
2	ゴウロスキー 大河 シェイクスピアCC	-1	74(37/37)	74(39/35)	67(31/36)	215
3	山本 諒太 シェイクスピアCC	+1	76(35/41)	71(37/34)	70(35/35)	217

【日本オープン】10月15日～18日 滋賀・タラオカントリークラブ西コース

詳しくは北海道ゴルフ連盟ホームページへ!

<https://www.hga.gr.jp/>



北海道シニア倶楽部対抗競技 成績

■Aグループ 会場:千歳空港カントリークラブ				
1 札幌国際CC				388
2 クラークCC	397	4 エミナGC		400
3 旭川メモリアルCC	398	5 千歳空港CC		401

■Bグループ 会場:エミナゴルフクラブ				
1 札幌GC				394
2 八柳74、野替77、内山80、八田80、松ヶ崎83]				
2 平取CC	402	4 セント旭川IGC		404
3 小樽CC	402	5 大沼国際CC		404

■Cグループ 会場:シャムロックカントリー倶楽部				
1 北海道クラシックGC				397
2 佐野74、千原79、一池79、石川82、大森83]				
2 帯広白樺CC	403	4 早来CC		408
3 千歳CC	406	5 大沼レイクGC		410



優勝の小林敏明選手

北海道シニアゴルフ選手権決勝は6月25日・26日、札幌美蓉カントリー倶楽部(6475ヤード)バー72で開催され、最終日3打差(65)ザノースカントリーの小林敏明選手(65)が、ザノースカントリーの72で逆転で2連覇を飾った。強風に雨が混じる悪コンディションの中、12番をバーディー発進し前半を3アンダー、後半はリードを知り守りに入ってきたスコアを崩したが、16番ミドルをバーディーとし優勝を確信した。この日は最終組の1つ前で回ったが、「最終組は優勝経験がないので、チャンスはあろうと思つていて、という通り、上位がスコアを崩す中、2位に3打差をつけての連覇となった。10月に滋賀県で開催する日本シニアゴルフ選手権には何度か出ている常連だが、目標はこれまでに常連が5位を超えていないと自信をのぞかせた。

順位	氏名	SCORE	ROUNDS		TOTAL
			1R	2R	
1	小林 敏明 ザノースカントリーGC	+4	76(37/39)	72(33/39)	148
2	前原 毅 シャムロックCC	+7	78(38/40)	73(37/36)	151
3	若月 和史 北海道CC	+9	81(42/39)	72(37/35)	153
	高崎 修一 旭川メモリアルCC	+9	77(38/39)	76(40/36)	153
5	齋藤 雄一 羊ヶ丘CC	+10	79(42/37)	75(38/37)	154
	奥 博 阿寒CC	+10	76(36/40)	78(37/41)	154
	三上 修一 シャムロックCC	+10	73(35/38)	81(43/38)	154

以上7名が日本シニアゴルフ選手権競技出場資格取得者



北海道ゴルフ連盟 情報ショット!!



VOL.5

【Bグループ】札幌GCが制覇

倶楽部対抗(6月17、18日開催)とシニア倶楽部対抗で重複出場するチーム編成が多い中、Bクラスを制した札幌GCはシニア単独の選手構成。松ヶ崎主将は「当クラブは倶楽部対抗に出る年齢制限があり、65歳で定年になるんです。この大会が決まった昨年にシニア選手会を結成。11回の予選会で厳正に選手を選びました。昨年のグループ分け大会は準備不足でBクラスに編入となったが、ベテラン勢の実力者が多いだけに「次はAクラス昇格、即優勝を狙いたい」と目を輝かせた。



Bグループ優勝の札幌GC

【Aグループ】札幌国際CCが初代王者に

札幌国際CCの上位3選手が70台の好スコアを出す活躍で、トータルスコア38ストロークで2位のクラークCCに9打差をつけた。うれしい初代チャンピオンの称号を手にした。ポイントゲッターリオは鎌田選手が72、小関選手が74、澤田選手が75とチームを牽引した。Aクラスのベストグロスを獲得した鎌田選手は、歴史に残る第1回目の優勝なので最高です。自分も75歳までのあと7年、この大会に出たい」と目を輝かせた。

チーム編成はクラブ対抗との重複選手3人と、シニア選手会を勝ち抜いた「ゴルフ大好き集団。個々が調整し、本番で力を出し切ってくれました」と監督を務める片倉プロは話し、「来年の目標はV2です」と意欲を見せた。



Aグループ優勝の札幌国際CC



左から
Bグループ高橋選手
Aグループ鎌田選手
Cグループ山岸選手

ベストグロス

Aクラスが72ストロークで鎌田和也選手(札幌国際CC)。

Bクラスは、チーム順位は16位だったシャトレゼCC石狩の高橋博幸選手(65歳)が孤軍奮闘の76ストローク。「ショットは良くなったのですがパット数26でしのだ感でした。来シーズンはクラブの力を結集してAクラスに上がりたいです」と喜びも半分といった表情を見せた。

Cグループは早来CCの山岸徹昭選手(61)が73でベストグロスに輝いた。「最終9番ロングのイーグルがきましたね。けがで欠場した6月の倶楽部対抗の鬱憤を晴らせました」と快心の笑顔を見せた。

【Cグループ】北海道クラシックGCが優勝

Cグループは26チームが参加し、北海道クラシックGCが2位帯広白樺CCに6打差をつけ優勝した。個人2位の74ストロークの佐野選手を筆頭に全員がスコアをまとも初年度でB昇格を果たした。研修会会長を務める大森選手は「個々が連ラシ、今日成果を出してくれました。みんなの力につきますね」とほつとした表情。昨年の予選会から3人が変わり全員が倶楽部対抗の選手を揃えた。25人いるシニア対象者を昨年の予選会終了後から今年6月までの研修会でのスコアで絞った。「来年は一気にA昇格を目指します」と力強く語った。



Cグループ優勝の北海道クラシックGC

シニア倶楽部対抗特集